



まちづくり交流プラザステージ

- 会 場：総合体育館(大競技場)
- 日 時：平成22年10月22日 9:00~16:45

今回のプラザステージは体育館の大競技場といった会場のスペースの都合もあり、交流プラザ(旧屋台村)と昼食用の休憩所も合わせた会場づくりということもあって、どこからでもステージの催し物が大型スクリーンで見ることができました。

開会式に始まり、青年建築士の地域実践活動報告、クイズ知ってるつもり、CPD専攻建築士コンテスト表彰、アトラクション、屋台村店主紹介、佐賀県まちづくり支援事業成果発表、表彰閉会式までフル回転で運営しましたので、いつ交流プラザに来られてもステージでは何かしら催しが行われているような状態でした。ステージ席に限らずワークショップで小物づくりをしながら、一日中屋台を預かる店主の皆さまにも、また、休憩用の椅子とテーブル席からでも見たり聞いたりできましたので多くの方にステージ内容を楽しんでいただけたと思います。

午前の部での青年建築士の地域実践活動報告はステージだけに留まらず、交流プラザ全体を巻き込んだ青年らしい新しい楽しい企画で行われ、午前の人出だしがまだまばらな交流プラザを盛り上げていただきました。恒例の「クイズ知ってるつもり」の出題問題作成は九州ブロック女性委員会が担当され、地域性たっぷりのユニークなヒッカケ問題で賑っていました。毎年楽しみにされている方々も多く、この時はどこからともなくステージ前に人が集まって来られていて、ステージ前の席がいっぱいになったのはこの時が一番だったと思います。

昼食時間帯のアトラクションでは、佐賀を代表する木原慶吾&スピリッツのライブがあり、他県から参加の建築士のファンの方もいらっやっていましたので良かったと思います。

屋台店主紹介では各屋台をインタビュー形式で廻り、その様子をステージの大型スクリーンに映し出しました。インタビューには地元スタッフに加え、当日飛び入り参加された連合会まちづくり委員の加藤さんに屋台の「みどころ」を上手に聞き出していただき、それを聞いてサラッと見ていた屋台に再度足を運んで行かれる方も多かったと思います。

その後CPD専攻建築士コンテスト表彰があり、専攻建築士を活かすアイデアが評価されていました。次に佐賀県まちづくり支援事業成果発表では佐賀県内各地域でまちづくり活動をされているNPOや一般の団体を毎年、応募形式で県が支援し県全体が美しく活力ある、いつまでも住み続けたい地域になるようにと県民協働で進められた活動報告です。各6団体[eまち本町プロジェクト][CSOかんざき][Sagaよかとこ発信][NPO潮高潤川][しょうがい生活支援の会すみか][循環型たてもの研究塾]の発表がありました。発表の中に



CPD・専攻建築士活用アイデア or 実施例コンペ表彰



木原慶吾&スピリッツのライブ



交流プラザ表彰・閉会式

は“未来につなぐ人の絆と建築士の役割”のヒントがたくさん隠れていたと思います。

最後の交流プラザ表彰・閉会式では福岡県建築士会まちづくり委員会さんの「台北国際花博出展〈エコ・アジア・五感の庭〉50年後の家族のために」が最優秀賞を受賞されました。おめでとうございます。

最後に各県より多くの方からの参加やご協力を頂きましたことを心よりお礼申し上げます。

(交流プラザ部会 山口美由紀)